

東日本大震災の経験を踏まえたCCPの可能性

常磐大学 准教授
砂金祐年

BCPとは？

BCP(Business Continuity Plan＝事業継続計画)：

企業などの組織が自然災害や大火災、テロなどの緊急事態において、事業の早期復旧・継続を可能にするための計画

- ①事業への損害(人、モノ、情報など)を最小限に押さえる
 - ②優先度の高い需要業務の継続と早期復旧をはかる
 - ③平時に行うべき訓練内容の策定
 - ④緊急時における業務継続のための方法と手段の策定
-

BCP概念を踏まえたCCPの可能性

CCP(Community Continuity Plan＝地域の持続可能計画)：

- 地域コミュニティが自然災害や大火災、テロなどの緊急事態において、事業の早期復旧・継続を可能にするための計画
 - ①地域コミュニティへの損害(人、モノ、情報など)を最小限に押さえる
 - ②優先度の高い地域需要供給の継続と早期復旧をはかる
 - ③平時に行うべき訓練内容の策定
 - ④緊急時における業務継続のための方法と手段の策定

行政(市町村)だけがするのではなく、
地域コミュニティの構成員が策定に参画することが重要

CCPのポイント(例)

- コミュニティにおける対策本部(≡避難所運営本部)の立ち上げ
達成目標: 本部メンバーの参集
達成時間: 数時間以内
- 行政(市町村)との連絡体制の構築
達成目標: 行政との連絡手段の確保
達成時間: 1日以内
- コミュニティ構成員の安否確認
達成目標: 安否確認の終了
達成時間: 数日以内
- 避難所運営
達成目標: 避難者の帰宅・仮設への移住
達成時間: 数週間～数ヶ月

他にも、食糧・必要な機材の確保、災害時要支援者支援などが考えられる

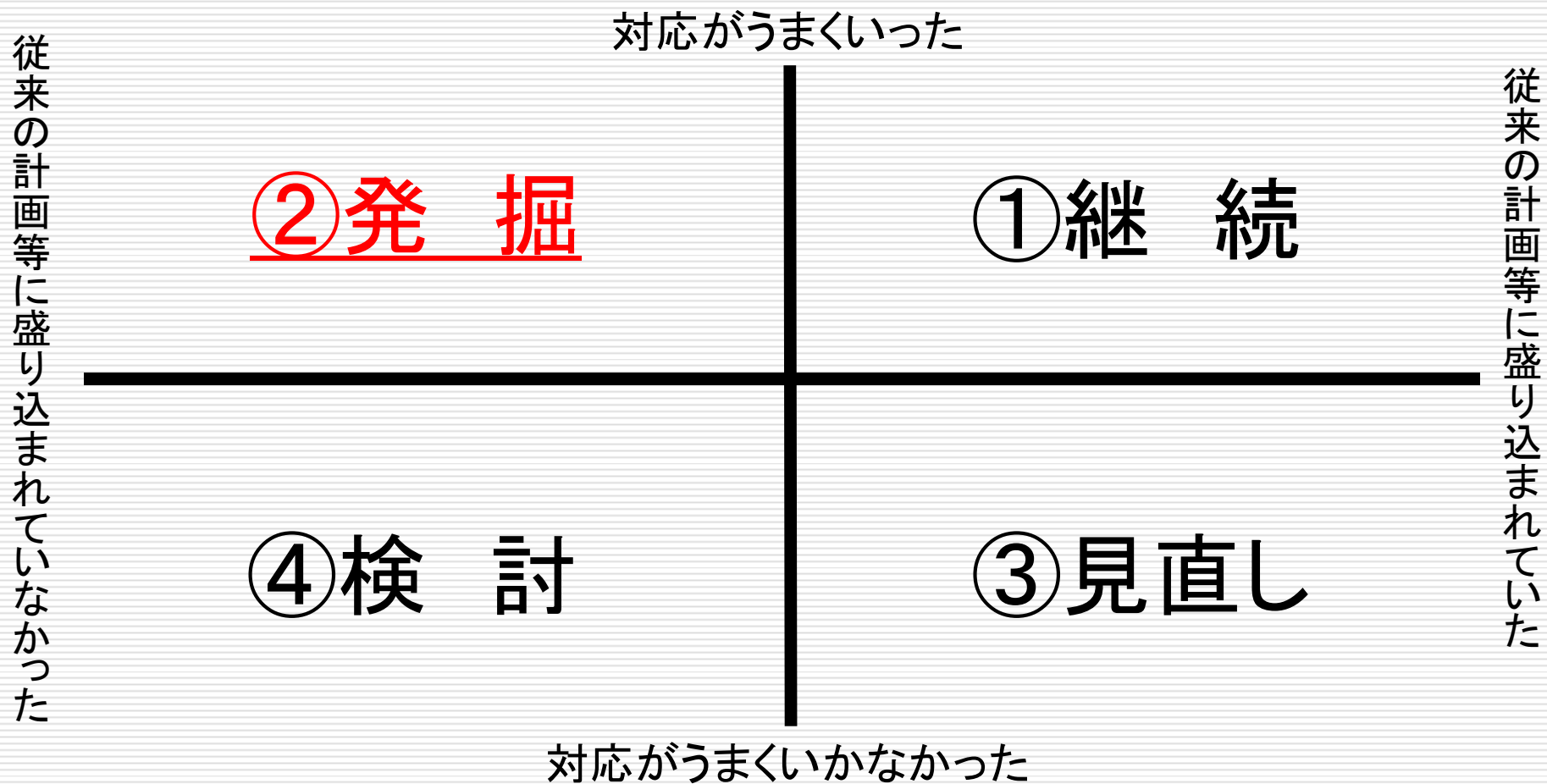
東日本大震災の経験をCCPに活かす

□ 東日本大震災を踏まえ、以下の点を整理することが必要
(東日本大震災で被災した地域コミュニティを想定)

- ①地域防災計画等に盛り込まれており、機能したものの(継続)
- ②防災計画等に盛り込まれていなかったが、機能したものの(発掘)
- ③防災計画等に盛り込まれていたが、機能しなかったものの(見直し)
- ④防災計画等に盛り込まれておらず、機能しなかったものの(検討)

→とりわけ、既に存在する②が重要(潜在的資源)

東日本大震災を踏まえたCCPの内容整理 (地域コミュニティの潜在力の発掘)



①→④の順にCCPに盛り込んでいく

北茨城市大津町における住民自身による避難所の運営（ヒアリング調査より）

- 避難所近くの畑の持ち主からは野菜が、燃料店からはガスコンロが、更に人づてに米等が寄付され、避難所の食生活は量的にも充実していった。名前は知らないが顔に見覚えのある人がボランティア活動に次々に参加し、500人分の食事作りが始まった。
 - 13日と14日には、地元のホテルから炊き出しの支援があった。15日には衣類を含めて支援物資が届き始め、朝・昼・夕食の配布時間が決まってきた。家に戻ったが食事の不便な人にも食材を届ける努力をした。
-

北茨城市大津町における住民自身による避難所の運営（ヒアリング調査より）

- 12日の午後、避難所でボランティア活動をはじめたKさんから「避難所で炊き出しをするので手伝って欲しい」と連絡が来たので、家族に訳を話し小学校の避難所の炊き出しを手伝った。先生方とは、PTA活動や仕事の関係で付き合いがあったので、すぐに対応ができた。
 - 学校の家庭科室のガスは電気がこないと使えなかったので、燃料店をしている知人の協力でガスコンロが設置され4人のボランティアと先生で、500人分の食事を作った。
-

北茨城市大津町における住民自身による復旧活動（ヒアリング調査より）

- ポンプ車で町内を回って避難を呼びかけ、住民の協力が高齢者を避難所に運んだ。これらの行動は停電により消防本部からの指示がなかったので自己判断で行った。
 - 津波の翌日の3月12日、地元で建設会社の社長をしている同級生から電話があり、「何か手伝う事があるか」と協力の申し出があった。機材（ユンボ）を提供してくれたので、浜道通りの瓦礫撤去の作業をし、13日には、車が通れるように道路の確保ができた。
 - 同級生などの、人と人との繋がりがうまく機能した。これも地域力だと思う。
-

住民主体の安否確認、避難所運営、復旧活動を成功せしめた要因

①様々な組織間の連携を可能ならしめた「キーパーソン」の存在

- フォーマルな組織：消防団・社協・PTA・商店会・漁協など
 - セミフォーマルな組織：ボランティア・NPO：声かけ隊など
 - インフォーマルな組織：分団・坪内・氏子組織・婦人会など
 - ・組織Aのリーダーと組織Bのリーダーが知り合い
 - ・組織CとDのメンバーを同じ人物がかねている、など→複合的ネットワーク(人と人とのつながり)の顕在化
 - 安否確認や避難所運営、復旧活動においては、キーパーソン同士のやり取りが効率性を高めた
-

住民主体の安否確認、避難所運営、 復旧活動を成功せしめた要因

②地域内の事業所等が保持していた資源の有効活用

- ・事業所の機材・発電機
- ・ホテル・飲食店等の食材
- ・井戸・湧き水など
- ・被災を免れた住宅からの毛布・食材等

- キーパーソンを通じて情報が伝達・共有され、
避難所等に届けられたたり、輸送路の瓦礫撤去等に活用された

大震災を通じて「発掘」された潜在的資源をCCPに盛り込む

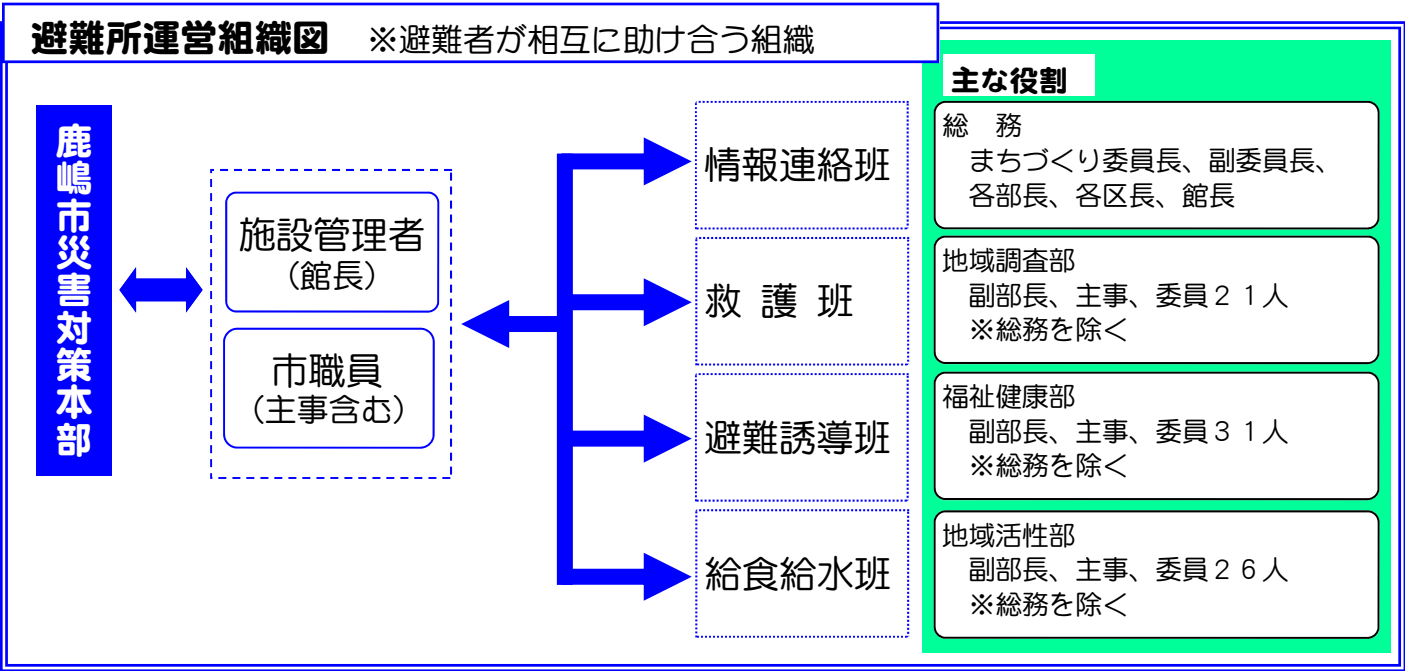
CCPの課題

- 「コミュニティ」概念の多様性(規模・地域特性など)
 - それぞれの特性に応じたCCPが必要
 - 「コミュニティ」が存在しなければ機能しない
 - ・津波等で壊滅的な被害を受けた場合はCCPは難しい
 - CCPの限界
 - ・そもそもコミュニティが衰退している地域
 - CCPの策定がコミュニティの醸成に役立つ？
 - 「賞味期限」と「消費期限」(CCPはナマモノ)
 - 定期的な訓練と見直しの必要性
-

平井公民館防災マニュアルシート

平井公民館
〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井1128-64
TEL: 0299-83-4228 FAX: 0299-82-6361
e-mail: hiraimachi1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

(参考1)



備品及び設備情報 (施設内)

< 和室 >机×30台、座布団×105枚 ※別々に押入れの中

< 料理実習室 >調理台×5台 (各ガス台×3台、電子レンジ、ガスオープン、コンセント)
丸椅子×35脚、ポリバケツ×3個 (蓋付)、茶碗・汁椀・湯呑・多数他食器多数
冷蔵庫 (電)、炊飯器 (ガス) 2升炊き×2個、(電) 2升炊き×3個、(電) 1升炊き×1個
ガス用ゴトク×4個、やかん (大)×2個、(小) 1個、ポット×5個、ポット (電)×2個
鍋 (特大)×1個、(大)×5個他多数

< 集会室 >机×28台、椅子×97脚

< 集会室前倉庫 >石油ストーブ×3台、電気ストーブ×1台、灯油ポリ容器×3缶、扇風機×3台
飯盒×19個、レジャーパンL×6個

< 浴室 >発電機、トイレットペーパー

< 事務室 >石油ストーブ×2台、筆記用具等、救急箱、ティッシュ、ゴミ袋、ラップ、
鍵 (外: 大・小倉庫、平井小中学校体育館・市民号※軽トラック)
災害用無線電話、防災無線、電話 (電)、FAX (電)、パソコン (電)×4台、冷蔵庫 (電)
電子レンジ (電)×1台、ケーブルタップ×5個

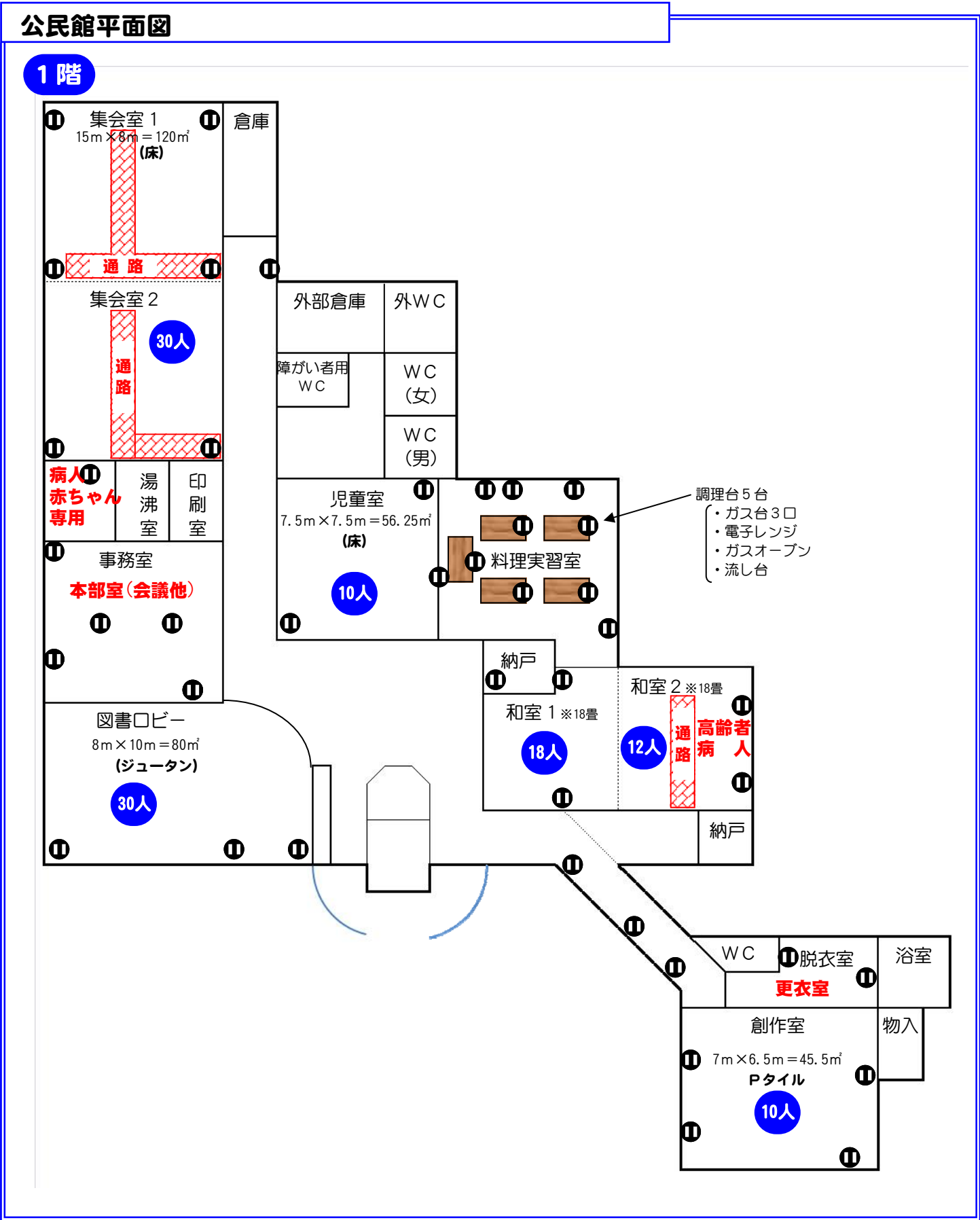
備品及び設備情報 (施設外)

[倉庫] (大): 防災鍋、レジャーかまど×2個、燃料×5箱、鉄板 (大)×2枚、鉄板 (小)×1枚、
地区看板、大工道具、ブルーシート×6枚
(小): 木くず、スコップ等外用道具、外用椅子

[駐車場] 舗装: 18台 (障がい者用含む)
西側芝生広場: 30台

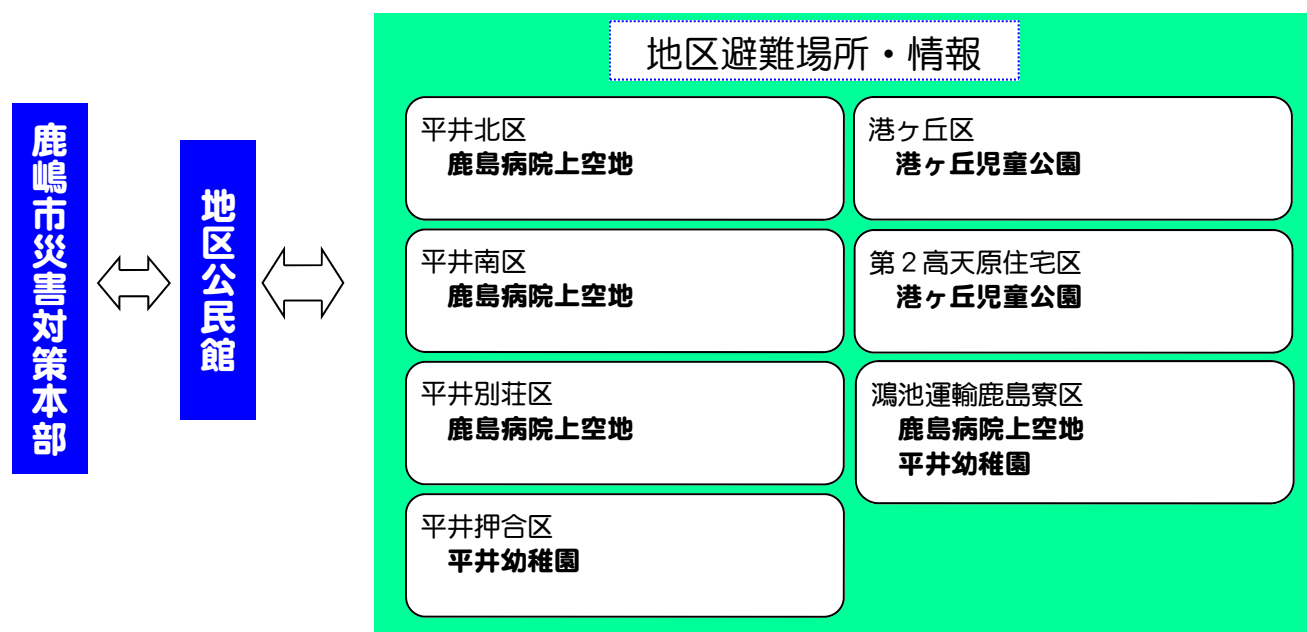
《商店及び病院等 (地区内)》

・ミズノ商店 (食料)	82-3167
・樋口商店 (ガス)	82-1058
・橋本スタンド (灯油等)	82-5588
・鹿島病院	82-1271
・鈴木接骨院 (別荘区長宅)	82-1066
・春日病院	82-1854



平井公民館防災マニュアルシート（ルール編）

連絡体制 ※地区避難場所等との連絡体制図



1日のスケジュール ※避難所（避難場所）としての時間割

(午前)			(午後)		
	避難者	食事担当班		避難者	食事担当班
5:30		起床	13:00		後片付け
6:00	起床	朝食準備	14:00		食材等買出し
6:30	ラジオ体操		15:00	掃除(外等)分担	
7:00	朝食	後片付け	16:00		
7:30			17:00	お風呂	夕食準備
8:00			18:00	時間を守り順番	
8:30			19:00	夕食	後片付け
9:00			20:00		朝食準備
9:30			21:00	反省会	お風呂
10:00	掃除	昼食準備		消灯	反省会
10:30	(分担して行う)				消灯
11:00					
11:30					
12:00	昼食				

避難所（避難場所）生活のルール

生活時間などのこと

- ・決められた時間を守り生活する
- ・風呂（シャンプー回数など）の時間制限
- ・外出、北区の報告が必要（養子を作り記入し提出）

衛生管理のこと

- ・ペットの室内への持込禁止
- ・トイレ使用等、注意書き（ルール）を決める
- ・手洗い、うがいを徹底する
- ・体調の変化などあったらすぐに部屋長に報告する
- ・消毒液、救急箱等を常に用意（使用期限の確認）
- ・洗濯機使用を順番にする※1回/人

施設のこと

- ・掲示版を設置し、情報を目で見えるようにする
- ・施設他簡易トイレ、流し、天水槽の設置
- ・喫煙場所及び時間の指定

運営のこと

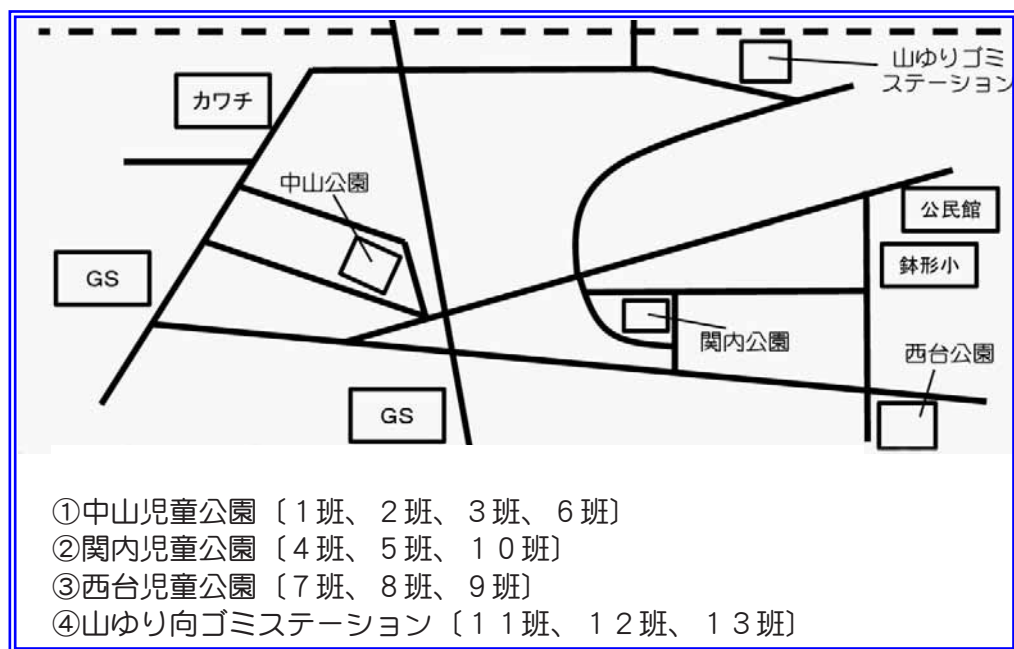
- ・避難者名簿に必要事項を記入してもらい台帳を作成
- ・本部役員及び部屋長など決める
- ・日々の食事班など決め（グループ）順番に回す
- ・1日1回反省会が必要（ルールの見直し及び追加）決定事項は掲示板へ

その他 生活のルールについて

- ・「思いやりをもって、仲良く、ゆずり合いの心」でわがまを言わない
- ・「あいさつ」を言おう！
- ・携帯電話等の充電は、15分/人
- ・室内では走ったり、暴れたりしない
- ・朝のラジオ体操に参加する
- ・特別な理由がない限り、自分で食べた食器は自分で洗う
- ・室内は禁酒、禁煙！

わが家・わたしの防災シート（鉢形北区版）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、わたしたちに多くの教訓を残しました。なかでもっとも大切なのは、日頃からの災害に対する備えです。この教訓を生かし、自分の命を自分で守るために、みなさんと災害時の行動や防災用具などについて話し合ってみましょう。



避難場所

避難場所

鉢形まちづくりセンター

地区避難場所

- ①中山児童公園 ③西台児童公園
②関内児童公園 ④山ゆり向ゴミステーション

危険箇所など

危険箇所①

5班、11班、北側森林崖崩れに注意！

危険箇所②

西台公園南側山肌、9班ゴミステーション裏森林崖崩れに注意！

危険箇所③

側溝未設置踏み抜き（3班、4班、7班、8班、10班）に注意！

避難場所とは

災害発生時、市民の安全かつ迅速な避難を推進するため、市があらかじめ指定する安全性の高い施設や広場を指します。なお、避難場所は、身の安全が確保できるまで、もしくは災害対策本部が指定・開設する避難所への移動を必要とするまでの一時的な場所として位置づけます。

地区避難場所とは

緊急時の一時的な対応として、区・自治会等が独自に指定する施設や広場等を指します。（一部、市が指定する避難場所との重複あり）なお、地区避難場所は、身の安全が確保できるまで、もしくは災害対策本部が指定・開設する避難所への移動を必要とするまでの一時的な場所として位置づけます。

家族に関する情報をまとめましょう

家族構成	緊急連絡先	勤務先等	持病等	服用している薬
年 月 日生れ（ 型）				
年 月 日生れ（ 型）				
年 月 日生れ（ 型）				
年 月 日生れ（ 型）				
年 月 日生れ（ 型）				
年 月 日生れ（ 型）				
＜家族での決めごとを記入しておきましょう＞				

非常持出品を準備しましょう

1次持出品（家族用）	2次持出品（地域で共同利用）
◆避難するときに最初に持ち出すもの。 ◆あまり欲張りすぎないことが大切です。 ☐ 飲料水（2L）、非常食 3日分／1人 ☐ 防寒着、手袋 ☐ 懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話、充電器 ☐ お金（千円、百円玉トータル2万円位） ☐ 常備薬 ☐ メガネ（コンタクト）、義歯 ☐ 免許証、保険証 ☐ おむつ、粉ミルク その他（ ）	◆災害復旧までの数日間を自活するためのもの。 ◆地域で共同利用できるものなど。 ☐ 毛布 ☐ 食糧（米、野菜、缶詰類、味噌、醤油、塩類） ☐ マスク、タオル、着替え、雨具 ☐ トイレットペーパー ☐ 歯磨きセット、手洗い石鹸 ☐ ポリタンク ☐ 紙食器、ラップ、アルミホイル ☐ 筆記用具 その他（ ）

平成25年度 かしまクリーンカレンダー

KASHIMA TRASH SCHEDULE CALENDAR

1. サンプル

◎可燃の日 (BURNABLE) ●不燃の日 (UNBURNABLE) ★資源の日 (RESOURCES)

◆収集当日の朝6時から8時までにしましょう。

休=収集は休み 〇=祝日

2013 4月 April

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					

5月 May

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4			
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

6月 June

日	月	火	水	木	金	土	日
	1						
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

7月 July

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

8月 August

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3				
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

9月 September

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

10月 October

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

11月 November

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2					
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

12月 December

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

2014 1月 January

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4			
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

2月 February

日	月	火	水	木	金	土	日
	1						
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28		

3月 March

日	月	火	水	木	金	土	日
	1						
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

鹿嶋市・環境経済部 環境課

生ごみのひとしぼりにご協力お願いします。

TEL.82-2911

●見やすい所にお貼りください ●再生紙使用